

シリーズ～新約聖書入門～

2016/12/11

アドベント第3週

言・命・光

ヨハネによる福音書1章1～14節

初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であった。この言は、初めに神と共にあった。万物は言によって成了た。成了たもので、言によらずに成了たものは何一つなかつた。言の内に命があつた。命は人間を照らす光であつた。光は暗闇の中で輝いてゐる。暗闇は光を理解しなかつた。

(6～8略)

ヨハネによる福音書1章1～13節

その光は、まことの光で、世に来てすべての人を照らすのである。言は世にあつた。世は言によって成ったが、世は言を認めなかつた。言は、自分の民のところへ來たが、民は受け入れなかつた。

しかし、言は、自分を受け入れた人、その名を信じる人々には神の子となる資格を与えた。この人々は、血によってではなく、肉の欲によつてではなく、人の欲によつてでもなく、神によつて生まれたのである。

新約聖書豆知識(ヨハネによる福音書)

- 著者は不明(使徒ヨハネの弟子?)
 - ・「ヨハネによる福音書」と呼ばれているが、本書のどこにも記されていない
 - ・「これらのことについて証しをし、それを書いたのは、この弟子である。わたしたちは、彼の証しが真実であることを知っている。」21:24
- 他の福音書が流布した後で書かれた
 - ・他の福音書にある話しがほとんど載っていない
 - ・全く別の視点から書かれている(哲学的・神学的)
- 著者も読者もユダヤ人
 - ・ユダヤの祭りや習慣などが説明なしで述べられる
- 新約聖書はギリシャ語(コイネー)で書かれた

ヨハネ福音書のクリスマスストーリー

初めに言があった。言は神と共にあった。言は神であった。この言は、初めに神と共にあった。万物は言によって成った。成ったもので、言によらずに成ったものは何一つなかつた。言の中に命があつた。命は人間を照らす光であつた。光は暗闇の中で輝いている。暗闇は光を理解しなかつた。

◎ マタイやルカとは全く異なるクリスマス

- ・マリアもヨセフもベツレヘムも羊飼いも天使もナシ!
- ・現実的,人間的な要素を持ち込みたくないなかつた
- ・神が人となられたことだけを知って欲しかつた

「言」「ロゴス」

- 「言(ことば)」とはギリシャ語では“ロゴス”である
 - ・ロゴスとはギリシャ哲学の用語で「宇宙を支配する原理のこと。万物の出発点。」の意味
 - ・人となられる以前のキリストを表現している
- 「初めに」とはこの世界が始まる前のこと
 - ・ロゴスは世界が始まる前からおられた(先在性)
- キリストは**神**であった(ある)
 - ・「言は神と共にあった」とは神と全く同等同質であるという意味
- キリストは**創造主**であった(ある)
 - ・「万物は言によって成了た。成了たもので、言によらずに成了たものは何一つなかつた。」

「命」「ゾーエー」

言の中に命があった。

- ◎ 「命」とはヨハネによる福音書のキーワードで、
“ゾーエー”という特別なギリシャ語である(36回)
- ◎ ゾーエーはしばしば「永遠の」という言葉と共に用
いられる(12回)
 - ・「神は、その独り子をお与えになったほどに、世を愛さ
れた。独り子を信じる者が一人も滅びないで、**永遠の**
命を得るためにある。」3:16
- ◎ 創造主であるキリストの「内に」ゾーエーがある
 - ・キリストはゾーエーを分かち与えるためにこの世に来ら
れた

「命」“ゾーエー”

◎ 2種類の命

- ・プシュケー:生物を生かしている命(有限)
- ・ゾーエー:キリストが持っている特別な命(無限)

◎ 神の子として生きるための命である

- ・「言は、自分を受け入れた人、その名を信じる人々には神の子となる資格を与えた。この人々は、血によつてではなく、肉の欲によつてではなく、人の欲によつてでもなく、神によって生まれたのである。」12-13
- ・ロゴスを(信仰によって)受け入れることで,その内にあるゾーエーをいただき,神によって新たに生まれることができる

光“フォース”

言の中に命があった。命は人間を照らす光であった。光は暗闇の中で輝いている。

- ゾーエーは暗闇の中にいる人間を照らす唯一の光“フォース”である(16回)
 - 天地創造の際,神がまず「光」を創造されたように,キリストは靈的な光をこの世にもたらされた
- フォースは悪を暴露し,正しい道を照らしだす
 - 「悪を行う者は皆、光を憎み、その行いが明るみに出されるのを恐れて、光の方に来ないからである。」3:20
 - 「光のあるうちに歩きなさい。暗闇の中を歩く者は、自分がどこへ行くのか分からない。」12:35

ロゴスは拒絶された！

暗闇は光を理解しなかった。その光は、まことの光で、世に来てすべての人を照らすのである。言は世にあった。世は言によって成ったが、世は言を認めなかつた。言は、自分の民のところへ来たが、民は受け入れなかつた。

- ◎ 「暗闇は光を理解しなかった」「世は言を認めなかつた」「民は受け入れなかつた」
 - まだキリストの生涯を描いていないが、すでにキリストの受難を予告している！
- ◎ ロゴスは世を滅ぼさず、かえって最高のプレゼントを与えて下さった！
 - 「しかし、言は、自分を受け入れた人、その名を信じる人々には神の子となる資格を与えた。」

ヨハネのクリスマス

世

ロゴス

ト

ボーエー[（]
（フォース）

あなたのクリスマス

あなた

ツーエー
(フォース)

信頼

ロゴス